

世界と新しい国家像

黒田インターナショナル

黒田 毅

世界の状況の変化は、未来という現実が既存の世界を形成するためである。産業革命と生活革命は、来るべきエネルギー革命と共に、現実で有り、競争という現実における国家の指針は、新しい世界との対峙を要求されるものである。

これらは利益の追求における迎合でなく、自己の明確な理念の提示を世界へ行い、世界の未来構築への責任を自己に要求することが、世界との新たな関係の構築を提案できるはずであると考える。

これらは過去が未来へ飛躍することで有り、西洋における新しい現実への転換は現実として自国が明確にその指針を自国へ提示することが要求されるはずであると考える。

生活の貧しさから豊かさへの転換と新規技術の活用における社会転換の要求は明確な政治のプレゼンスを要求されるもので有り、これらは惰性における未来への参加でなく、明確な英断を要求されるものであると考える。

近隣諸国との歴史問題の解決は、自己安全保障への自己プレゼンスにおける新しい世界のパワーバランスの構築を提案できるもので有り、対立から融和への新しい世界への参加など、日本国が世界に対しての自己行動を提示することは可能で有り、現実という厳しさに対して、その未来の創造を提案することができるはずであると考える。

自己の自立は、新しい未来の創造で有り、国民がその豊かな生活の創造を得ることは、正しい国家運営において唯一可能であるはずで。

平和という共有の利益は、戦争への新しい判断を共有し、世界が未来の共有を行うことに対して、日本国が、その明確な自己意見を提示することは、東洋におけるルーツを有する国家として、その融和と未来の創造を提案できると考える。